

警察庁に対するリカバリーサポート・ネットワーク 平成22年度電話相談事業活動報告とぱちんこ依存問題の 相談・研究に関する契約書・覚書の調印について

Recovery
Support
Network

5月26日(木)午前11時、全日遊連原田實理事長とぱちんこ依存問題相談機関「リカバリー サポート・ネットワーク」の西村直之代表理事が警察庁保安課を訪問し、同課課長、同課長補佐に対し、平成22年度における電話相談事業の活動内容及びパチンコ・パチスロ産業21世紀会によるリカバリーサポート・ネットワークへの支援体制が整つたこと等について、報告いたしました。

警察庁からは、業界で依存問題に取り組んでいることに対し、高い評価の言葉をいただきました。

また、同日の午後、全日遊連事務局において、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の代表である原田理事長とリカバリーサポート・



調印を終えた西村代表理事と原田理事長

ネットワークの西村代表理事により、業務委託基本契約書と覚書の調印を行いました。

全日遊連では、「将来的には業界全体で依存問題に取り組む」ことを目標として平成17年にリカバリーサポート・ネットワークを立ち上げ、5年間支援をしてまいりました。今年度から、業界14団体(21世紀会)で支援することとなり、ファンに対するセーフティーネットが、より拡充されることが見込まれます。

先般、金融庁総務企画局企画課信用制度参事官室から全日遊連に対し、「あなたは大丈夫? キャンペーンー資金業法が大きく変わります!」のポスターを組合員ホールに貼付してほしいとの協力要請がありました。

今回配付されるポスターは、昨年のキャンペーン開始から約1年が経過し、「総量規制」に代表される改正貸金業法そのものの認知が進む一方、多重債務相談窓口の認知に課題が見られたことから、「多重債務相談窓口の周知」に重点をおいたものとなります。

ポスターは、近日中に金融庁から東日本大震災で甚大な被害があった被災県(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)を除く都府県方面組合を通じ組合員ホールに直接お送りいたします。

組合員ホールにおかれましては、本キャンペーンの趣旨をご理解いただき、「来年3月末までのポスター貼付」にご協力をお願い申し上げます。

金融庁「多重債務相談窓口」 周知のためのポスター 掲示の協力について